

事前の評価個表

整理番号	1
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	秋田県
事業実施地区名	上鴫沢 (かみときとさわ)	事業計画期間	令和2年度～令和11年度 (10年間)
関係市町村名	鹿角市、小坂町	事業実施主体	秋田県
事業の概要・目的	<p>本地区は秋田県北部の鹿角市と鹿角郡小坂町に跨って発生した地すべりである。地質は新第三紀中新世の安山岩質凝灰岩・シルト岩・砂岩・礫岩が複雑に入り乱れて分布し、既往文献では地すべり頭部に沿って断層が推定されている。</p> <p>本地区では平成30年7月に地すべり性の斜面崩壊が発生した。崩落土砂により治山ダムが埋没し、林道は通行不能となったことから、令和元年度から復旧治山事業による調査を実施した。その結果、平成30年崩壊箇所の背後斜面に地すべり変状が広範囲に確認されたことや地表伸縮計等の観測において準確定～確定変動に該当する動きが確認されたこと等から、幅900m・奥行600mの範囲で地すべりの滑動を確認した。</p> <p>この大規模な地すべり変動がさらに活発化した場合、地すべり末端を流下する一級水系米代川上流の長沢川が埋没し、上下流域の人家や農地に多大な被害を及ぼすほか、対岸の高台にある鴫集落に移動土塊による直接被害が及ぶおそれがある。</p> <p>そのため本地区を地すべり防止区域に指定し、地下水排除や排土を主体とした地すべり防止対策を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：集水井工13基、ボーリング暗渠工3,220m、排土工500,000m³、河川付替370m、盛土工506,000m³、水路工1,010m ・主な保全対象：人家33戸、町道2800m、林道1800m、農地27.1ha ・総事業費：2,500,000千円（税抜き：2,272,727千円） 		
費用便益分析	総便益(B)	4,685,870千円	
	総費用(C)	1,917,117千円	
	分析結果(B/C)	2.44	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：地すべりの滑動による山地災害から、集落、道路等を保全するため、地すべり防止対策を実施するものであり、本地区の安心・安全に資する事業であることから、必要性が認められる。 ・効率性：本区域の地すべり形態に適切な工種・工法により対策を講じ、効果的・効率的な地すべり防止工事を実施するよう努め、一層のコスト縮減を検討し、総事業費の軽減を図る方針であることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性：事業実施により、地すべりの滑動による山地災害から本地区の安定が図られるとともに、下流保全対象が保全され、住民生活の安全の確保等、事業効果発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業
施行箇所：小坂町上鶴沢地区

都道府県名：秋田県
(単位：千円)

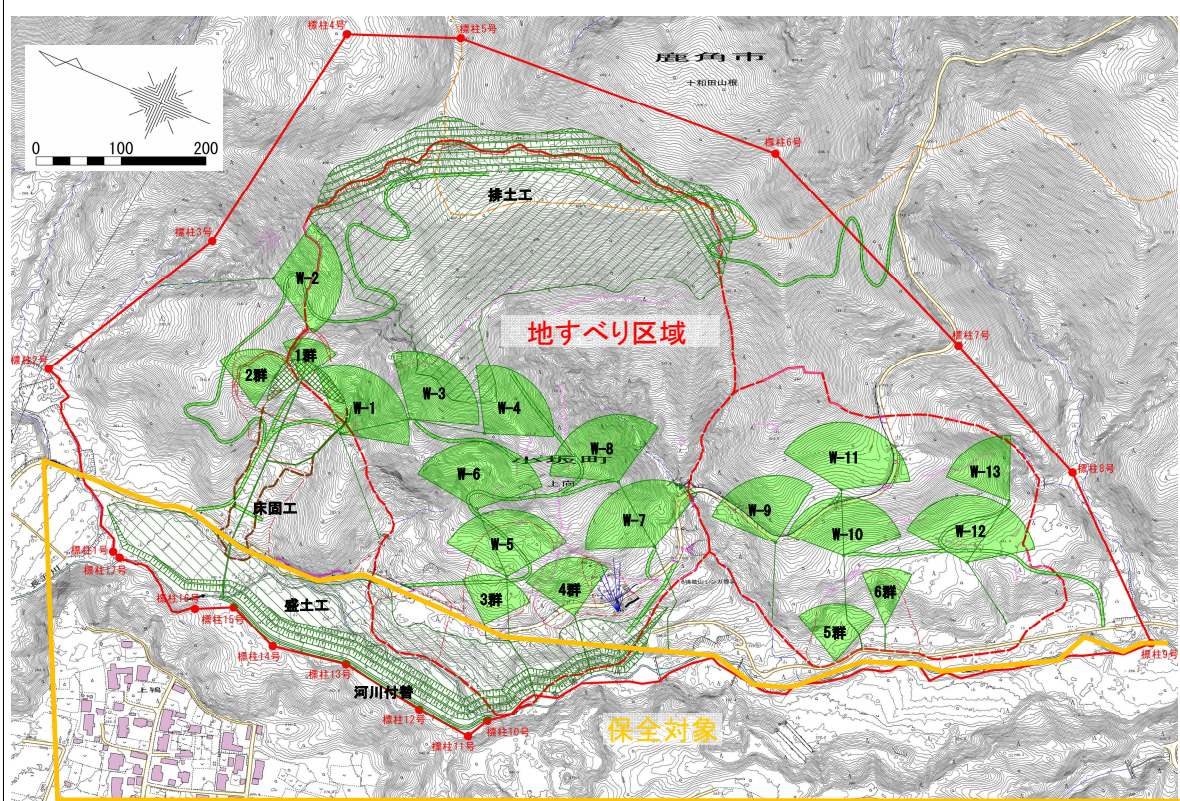
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	4,685,870	
総 便 益 (B)		4,685,870	
総 費 用 (C)		1,917,117	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,685,870}{1,917,117} = 2.44$		

評価箇所概要図

整理番号

秋田県

事業名 民有林補助治山事業(地すべり防止) 地区名 上槇沢地区



- ・ 排土工
 - 排土工 V=500,000m³
 - 植生基材吹付 A=5,800m²
 - 現場内運搬 V=500,000m³
- ・ 河川付替
 - 掘削工 V=6,000m³ (延長370m)
 - 護岸工 L=740m (370m×両岸)
- ・ 盛土工
 - 現場発生土敷均し V=506,000m³
 - 張芝工 A=24,400m²
- ・ 集水井工 13基
 - 集水井本体 ΣL=430.0m
 - ボーリング暗渠工 ΣL=13,130m
 - 排水ボーリング ΣL=1,098m
- ・ ボーリング暗渠工 6群
 - ΣL=3,220m
- ・ 法枠工 1箇所 A=2,700m²
- ・ 水路工 ΣL=1,010m
- ・ 床固工 1箇所
- ・ 工事用道路
 - ΣL=3,960m

上槇沢地区

